

## 年頭所感

新年明けましておめでとうございます。



今年も新年射初め会で、中学生・高校生の全国大会・国体等での活躍に、記念品を贈呈、表彰されました。また、中央審査。連合審査の合格者も披露されました。あらためて、おめでとうございます。

さて、今年の年賀状には、弓道を再開したという便りが、多く寄せられました。

少年少女時代に部活や試合に挑戦した人が、仕事に就いて、一段落した時、また、子育てを終えた時、定年退職後の健康維持にとそれぞれ、目的、動機は色々であろうとは思いますが。

弓道は老若男女を問わず、親しめる武道であり、スポーツです。そして、弓道の修練には、その年代に応じて、今やらねばならないこと、今でしかできないことがあります。それは、仕事や学業、社会に対しても言えるのではないのでしょうか。今を大切に。弓道連盟はそれを助けるのが、任務です。今年もよろしくお願ひいたします。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

## ◆ 平成25年新年射初会 (+支部・地区対抗戦)

日時：平成25年1月6日 (日)

場所：橿原公苑弓道場

参加者数：165名

吉本会長の矢渡しで本年の新年射初会がスタートしました。矢渡しの後、昨年の年間表彰者および中央・連合審査合格射の演武が行われ、素晴らしい射が披露された。

競技会に入っても真剣な行射が行われ、今年にかける皆の気持ちが表されていた。支部・地区対抗戦の結果は以下の通り。

### 【結果】

- 1位：橿原支部 43中
- 1位：天理大学 43中
- 3位：奈良支部 39中



## ◆ 御弓初祭に1年の無事を願う



晴れても曇っても厳寒の毎年1月4日、天理市・大和神社で行われる【御弓初祭】に参加しました。県連がお手伝いして、1年の厄除けと五穀豊穡を願う恒例の行事。雪雲が神社の黒緑

の木々を包み込み、清々しいほどに冷えた空気の中、今年も新司先生の放つ鏑矢の音色が邪気を払う「曇目の儀」で、厳かに始まりました。

神社の宮司さんと市内の中学生に次いで、私たちが小笠原流の古式にのっとり、百々手式の儀式にならって弓を引きます。古式装束のコスプレしたさに参加して4回目。今年もここで元気に弓を引けることに感謝し、時折降りしきる雪の中、気持ちを引き締めて的に臨む。

どうぞ家族がみな平穏無事に過ごせますように。元気にたくさんの弓が引けますように…そして上達しますように。いや、今年は息子の就職だ！その前に無事卒業を。神様どうぞよろしくお願ひします。夫の仕事も順調に。アベノミクスは大丈夫か？給料アップもよろしく…たった2本の矢に託すには厚かましすぎるほどの願ひを込めて、新年初めての矢を射しました。



年に1度のご奉仕なので、なかなか所作がおぼえられず申し訳ないのですが、次々と放たれる矢に湧く参拝者の方々の歓声と大きな拍手に包まれて、1年を始められるのは快感です。

どうぞみなさんが健やかに。そして、それぞれの課題や目標に向かって、苦悩し努力できる幸せに恵まれますように。

受け継がれていく伝統行事をお手伝いしてみませんか。ご参加よろしくお願ひします。 (揚田よう子)

## ◆ 橿原市弓道協会白檀道場 冬の百射会

1月3日、橿原市弓道協会白檀道場にて、恒例の冬の百射会を今年も開催致しました。寒さに負けがちな冬にも稽古を怠らないようにと、国体強化選手の方々などにもご参加いただきながら開いてきた同会も、今回で18回目となり、総勢33名の参加がありました。この正月一番の寒さの中、土居代表の新年のご挨拶に始まり、続いて阪中先生、西中先生よりいただいた (次ページへ)

「弓を引くことができることへの感謝を忘れずに」というお言葉を噛みしめながらの百射となりました。張り詰めた空気の中、弦音と的に中る音が次々と道場裏の竹藪にまで響き、新年にふさわしい清々しい一日となりました。的中の出た人も出なかった人も、それぞれが自分自身の課題とじっくり向き合う良い機会となったことと思います。参加人数の都合上、急遽、道場寸法を測り的中数を増やしたり、同時打起しを余議なくされるなど、慌ただしい面がありつつも、怪我することなく多くの方が完射することができました。

この百本が今年の12月にこの一年を振り返ったときの成長の原点となっていることを願い、日々の修練に励みたいと思います。次回も多くの方の参加があることを願っております。

年始の忙しい中、参加された皆さん、お疲れ様でした。そして運営にご協力いただき本当にありがとうございます。

#### 【結果】完射28名

1位 辻本元威 82中

2位 原田祐介 74中

3位 綿松昭寛 67中

(橿原市 原田祐介)

#### ◆ 香芝蒼穹会 初射会

1月2日 蒼穹会の新年初射会を穏やかな日和のもと、奈良文化高校の弓道場で行いました。初めに会長による矢渡しが行なわれ、続いて一つの、持ち的射礼を行いました。射礼は日頃の練習ではあまりしないので、新鮮な気持ちで引くことができました。最後に金的や白扇等の余興的、道場での簡単な会食を終え平成25年度をスタートしました。

昨年やり残したことは沢山ありますが、新たな目標をもって今年も楽しく弓道をしていきたいです。



(蒼穹会 山田)

#### ◆ 平成24年度スポーツ指導員講習会終了！

11月25日の第6回目の講習会で今年度のスポーツ指導員講習会が全て終了しました。

参加者は16名で、武段から錬士五段までという幅広い層の講習会となり、内容で苦勞した面もありましたが、吉本先生の実際に引きながら説明するという、県内では初めての講習や、須田先生の日弓連の歴史や指導者としてのあり方の講話等、通常の講習会では聞けない講話がたくさんあり、盛りだくさんの内容でした。

スポーツ指導員の資格がこれからどのように反映されていくのかまだ日弓連からの通達が出ていませんが、弓道

を通して人間の幅が広げられれば、それでプラスかなと思います。

今回はいつ開催できるかわかりませんが、まだ資格を取得していない方は、次回は是非申し込んでみてください。普段の審査講習会や伝達講習会とはまたひと味違った講習会です。

講師として何日も指導して頂いた先生方に深く感謝申し上げます。  
(指導部)

#### ◆ 第17回 布目108中射会

恒例の布目108中射会は今年も平成24年の大晦日に布目弓道場で開催されました。時折、強風が道場前面のビニールシートを揺らし、バタバタと音をたてていましたがまずまずの天候でした。

この108中射会は百射会と違い、参加者の合計的中数が108に達したところで終了するもので、立順は矢振り決め、張り出された記録表には各自的中番号が棒グラフのように張りつけられ、ひと目で試合の状況がわかるようになっています。

今回の参加者の中に一昨年の東日本大震災を仙台で経験され、現在は和歌山県にお住まいされている吉本先生の東北大学時代の一年先輩の桑原さんがおられました。

射会終了後の懇親会では津波に遭遇された生々しい当時の様子を直接お聞きすることができ、参加者一同にとっては又とないよい経験でした。親しげにお話しされているお二人を拝見し、弓道が結ぶ縁を感じたのは私だけではないように思います。

成績・データは次の通り。

108中賞	陸田(初)
アシスト賞(107中目)	土谷
飛び賞 100中目	諸熊 77中目 陸田
60中目	宮口 54中目 桑原
31中目	早山

参加者数27名、総矢数304本、競技時間4時間9分。

表彰式の後、年越しそばやおでんなどで懇親会を行い、受賞者からは感想等が述べられて楽しい時間を過ごしました。



そのあと道場の掃除、安土の整備を行って無事のお開きとなりました。  
(報告：松井成之)

#### 編集後記

平成25年1月号を発刊します。誌面の関係から昨年年間表彰者等の紹介は次号にて行います。